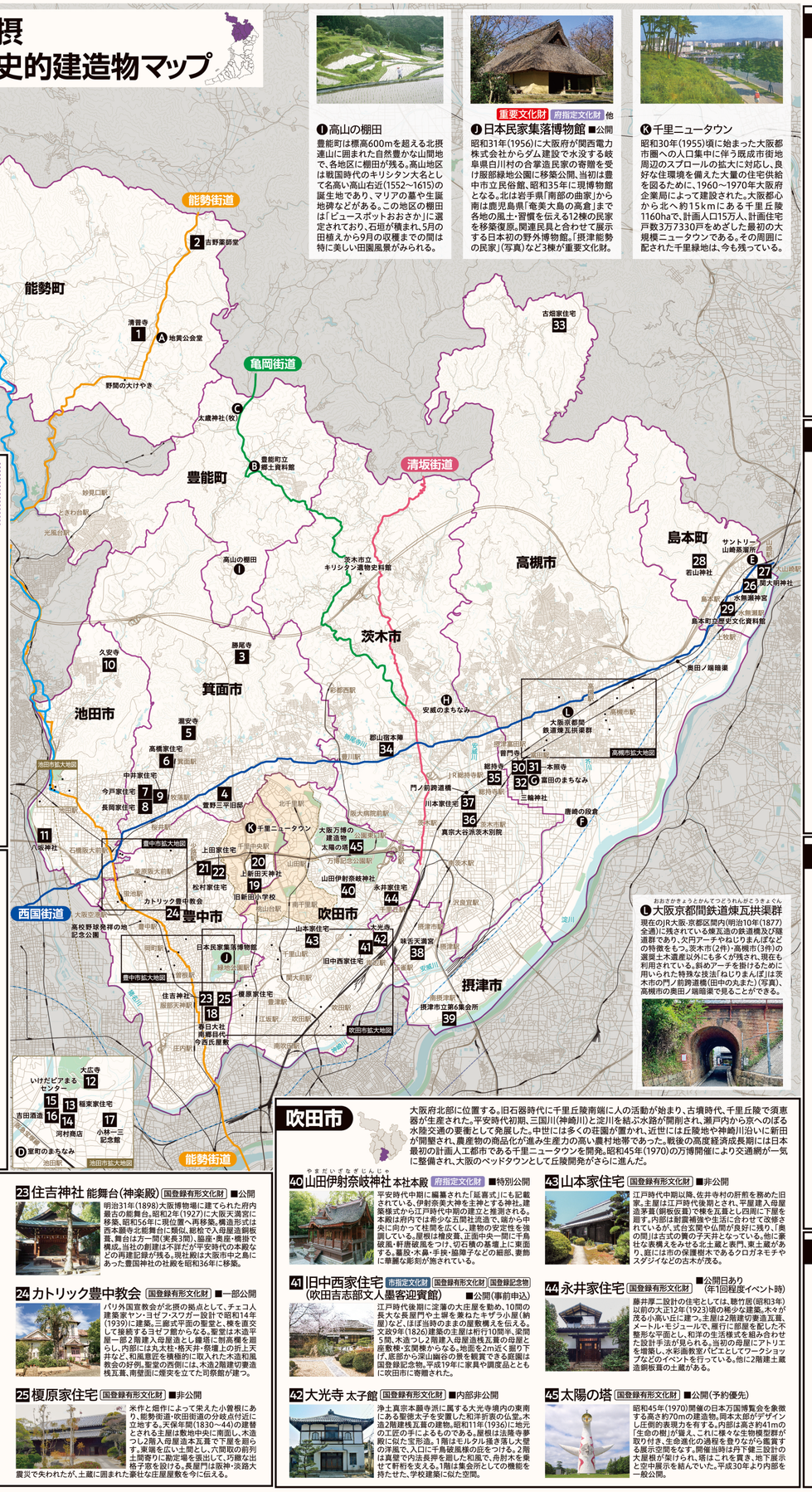
北摂 歴史的建造物マップ



能勢町

大阪府最北端、三方は兵庫県・京都府に接し古くから摂津と日本海方面を結ぶ交通の要衝。縄文時代から人が住み、奈良時代には郡衙(役所)が設けられ、平安時代から鎌倉時代にかけて銅の採掘場や薬草園が開かれた。中世以降、明治維新まで能勢氏が治めた。江戸時代は地domain陣屋が置かれ、能勢妙見山は「摂西の聖地」として多くの参拝者を集め、国無形民俗文化財の「能勢の浄瑠璃」も盛んであった。昭和31年(1956)の町制施行により能勢町が誕生。現在は里山資源や文化資源を生かし「おおさかのてっぺん」を地域ブランドとして、持続可能なまちづくりをめざしている。

1 清普寺 府指定文化財 ■内部非公開

慶長6年(1601)能勢頼次が父の菩提のため、日蓮宗の日然上人を招き開山した。兵庫の祈毛切り開いた地にあり、本堂は元和2年(1616)の建立、桁行7間、梁間5間、入母屋造茅葺(銅板仮葺)向拝付で、改変されてはいるが日蓮宗方丈型の本堂としては西内最古級であり、当初材をよく残す。本堂・庫裏・表門・鐘楼が府指定文化財である。墓股や笈に能勢氏家紋があり、境内の能勢家墓所に巨大な墓石群が並ぶ。

2 吉野薬師堂 国登録有形文化財 ■内部非公開

町内東山の広々畝にあった真言寺院を、応安年間(1368~75)に現在地へ移したと伝わり、天文24年(1555)に重修された記録が残る。薬師如来など3体を安置し、地元では「堂さん」と呼ばれ、村の集会所として使われてきた。方三間の平屋建寄棟造茅葺(鉄板仮葺)で、外周板壁、8寸角の柱、内部は板張で奥を仏間とする、中世の部材を残すとともに、集落の歴史景観上欠くことのできない建物である。

A 地黄公会堂 ■非公開

昭和11年(1936)に地元自治会が「大阪市中央公会堂(大正7年/1918)のような建物を」と建設したと伝える。アーチ窓付の下見板張、乾式コンクリート瓦葺の洋館で、手前は2階建寄棟造、奥は平屋建切妻造、正面の和風玄関ポーチは当初は洋風であった。内部は折上格天井の真壁仕様で、ルとし、映写室や中2階の観覧ギャラリーを備え、2階は和室6畳2室。道路を隔てた東側には地黄城の石垣が残る。

野間の大けやき

樹齢1000年以上と推定され、高さ約30m の巨木で単体のけやきとしては日本一の大きさを誇る。昭和23年(1948)に国の天然記念物に指定された。かつてこの地は「鎌無郡(ありなしのみや)」という神社があり、ご神木として大切に受け継がれてきた。

B 豊能町立郷土資料館(東能勢小学校旧講堂) ■開館日:原則火・木・土

昭和11年(1936)に東能勢村の東能勢尋常小学校の講堂として建てられたもので、町中心部の高台にある。鉄骨造(ハーフトラス)平屋建切妻造波板鉄板葺で、正面には洋風の交叉筋ボーナス窓付く。改修を経て昭和62年に郷土資料館となり、民具を中心に展示されている。玄関脇には特産物のひとつ栗天作りの大釜が「置かれている。建物奥の舞台壁面には当時、天皇の肖像を掲げた礼拝設備(非公開)が残る。

C 太鼓神社(牧) ■内部非公開

本立の参道を登った先に境内が開け、手前に舞殿形式の拝殿、その後方の石垣上に本殿と末社が建つ。創建は不明だが、永仁4年(1296)の棟札文が「伝える。三神(櫛田稲荷・大宮貴命・須佐之男命)を祀り、産土神として大切にされている。本殿は三間社流造銅板葺で江戸時代中期~後期と考えられる。鳳凰する有地区は少水量の大阪側に位置し、昭和33年(1958)に京都府亀岡市から編入された。

豊能町

大阪府北部、摂津と丹波の国境に位置し、標高500m から600m の妙見山系によって東西両地区に分かれ、7割が山林を占める。東地区は日本海側時代から人が住み、中世には各所に荘園が営まれる。江戸時代は幕府領と旗本能勢氏領。現在は鎌倉時代から江戸時代の石造物が点在する長閑な田園風景がみられる。また、高山地区は高山右近の生誕地として知られる。西地区は多田源氏が支配し、江戸時代には主に幕府領。現在は能勢電鉄が走り、ベッドタウンとして開発され、人口の約8割を占める。昭和31年(1956)に前身の東能勢村、その後京都府亀岡市の一部を合併、昭和52年の町制施行で豊能町。

D 高山の棚田

豊能町は標高600m を超える北摂連山に囲まれた自然豊かな山間地で、名地区に棚田が残る。高山地区は戦国時代のキリシタン大名として「名高い高山右近(1552~1615)の誕生地であり、マリアの墓や生誕地碑などがある。この地区の棚田は「ピュースポットおおさか」に選定されており、石垣が積まれ、5月の田植えから9月の収穫までの間は特に美しい田園風景がみられる。

E サントリー山崎蒸溜所 ■要問合せ

創業者鳥井信治郎が名水豊かな山崎の地を選び、大正12年(1923)に建設着手した日本最初のモルトウイスキーの蒸溜所。創業当時から唯一残る本造建屋は保存改修し、山崎ウイスキー館として再生。第一次洋酒ブームの到来により、昭和34年(1959)に増築された工場群のウイスキー色のタイルと台形状の乾燥煙突は今なお特徴的である。当初の製麦機は佐野正一設計で第11回日本建築学会賞受賞。

F 唐崎の段倉 ■非公開

江戸時代から明治時代の淀川沿岸地域では、水害から財産を守るため、石垣の上に築かれた土蔵の床を段々に高くする対策が行われた。これを段倉(蔵)(字治川流域では「水蔵」とも呼ぶ)と言い、水害時の避難所として座敷を備えたものもあった。敷地内の北西の方位に建てられたのでいわゆる「鬼門」にあたるとも呼ばれる。かつては地域に多く見られたが、現存するものは少なく、市民公募で高槻まちかど遺産に選定された。

G 富田のまちなみ

市の南西部に位置する富田は、浄土真宗の布教拠点として、かつて富田道場と呼ばれた教行寺を中心に寺内町として栄えた。池田、伊丹とならぶ「近世三都」の一つとして数えられ、最盛期には24軒の酒蔵があった。現在は2軒の酒蔵が伝統の製法と味を守り伝えている。整備された町割は引き継がれ、漆喰塗の土塀窓、焼杉窓の蔵、縦屋根や格子の意匠などに往時の繁栄が偲ばれる。

H 安威のまちなみ

安威周辺は、藤原鎌足ゆかりの地として知られ、中世には鎌足の子である定恵間瀬の寺とされる太念寺、鎌足の墓もあったと言われている阿武山古墳や中臣氏の祖神が祭られている阿為神社、南西に鎌足の邸があったと推定される鎌足神社、農村集落で在郷町的な古いたたずまいを残す清酒や醤油が作られ、瀬戸出窓を備えた古い民家が点在する。府指定天然記念物であるお歯黒のイチョウがある。

箕面市

大阪府の北西部に位置し、面積の6割は「明治の森箕面国定公園」を含む北部山間地域である。奈良時代頃に開基された箕面寺(瀧安寺)と勝尾寺は、平安時代末には「聖(ひじり)」の集う寺院として栄えていた。南北朝時代には早くも二毛作が行われ、江戸時代には酒造米や薬種、果樹などの商品作物の栽培が盛ずし、山間部では製炭も盛んであった。近代になると明治31年(1898)大阪府営箕面公園設立、明治43年の箕面有馬電気軌道(現在の阪急箕面線)の開通によって、観光地化が始まり、市街化が本格化した。昭和31年(1956)箕面市となり、自然に恵まれた住宅都市として発展している。

3 勝尾寺 国指定史跡 ■公開

開山は奈良時代末に遡り、寺号は清和天皇の病気平癒の効験により授けられた「勝王寺」が淵源と伝える。西国三十三所23番札所の寺院。境内には由緒ある建造物が多数現存。豊臣秀頼の命によって再建された歴史を有する山門や本堂、初代藩主・関成に縁のある三神を祀る鎮守堂、浄土宗開祖の法然が逗留した二階堂をはじめ、薬師堂、多宝塔などが建ち並ぶ。旧境内八天石蔵と町石は国指定史跡に指定。

八天石蔵・石組

一町石

勝尾寺旧境内 八天石蔵および町石

勝尾寺周辺の山中に位置する八天石蔵は、今と昔の村との境界ならびに魔界の障壁を防ぐ結界を形成するためのもので、「勝尾寺文書」によると寛永2年(1230)の構築とされる。石組の方形壇を積み上げた形状(下段各辺4m、中段各辺3m、上段各辺2m、高さ1m)となっており、昭和の発掘調査で出土した四天王・四明王像は重要文化財指定を受けている。山門付近から勝尾寺口交差点南の大鳥居まで続く旧参道に設けられた町石のうち、山門から数えた計6基(「一町石~七町石」)は宝治元年(1247)建立の日本最古の町石である。

4 萱野三平旧邸 府指定史跡 ■公開

赤穂藩主浅野内匠頭長矩に仕え、元禄14年(1701)の赤穂事件とともに歴史に名を刻み、俳諧の世界にも足跡を残した萱野三平重実(俳号:消泉)の生誕と終焉の地。西国街道沿いには三平自刃の間と伝えられる長屋門と土塀の一部が残る。昭和15年(1940)に修復し、地元自治会の努力により保存継承され、平成4年に資料館として公開。箕面市は「萱野三平記念館(消泉亭)」として三平や西国街道に関する資料館として運営する。

5 瀧安寺 鳳凰閣 国登録有形文化財 ■特別公開

大正6年(1917)竣工、箕面山中腹の石垣上、箕面公園内の敷地に建ち、平屋建切妻造桟瓦(一部銅板)葺の建築。北端には宝形造の棟屋をかがすける。設計は武田五一、施工は高橋組。箕面川の渓流と一体となって、優れた景観を創り出している。平成30年の台風21号により甚大な被害を受けたが2年の歳月を経て復旧工事が完了。その際、屋根に金色の風鳥を設置し、以前に増して気品と風格を漂わせる。

6 髙橋家住宅(旧有馬邸迎賓館) 国登録有形文化財 ■公開(営業)

明治時代後期から宅地開発が行われた箕面川沿いに建つ洋館で、大正8年(1919)に建築された。木造2階建天然スレート葺。出窓をはじめ突出部を多くつくり、急勾配の三角屋根や随所にステンドグラスを組み込んだ工夫が凝らされつなと本格的な洋風の意匠をしている。底本と調和する重厚な佇まいは、箕面の象徴として景観重要建造物にも指定。現在、文化発信基地「一知里館」として様々なイベントを催している。

7 今戸家住宅 国登録有形文化財 ■非公開

大正13年(1924)住宅改造博覧会場地内にあった地に建てられた、木造2階建平切妻造和瓦葺の和洋併用スパニッシュ風邸外住宅。道路側を長く大きな屋根としドーマウインドウを設けてアクセントとしている。設計は奥戸大蔵、施工はあめりか屋。当時流行っていた欠風脚応接間やマントルピースを備えた重厚な洋風の空間を設けている傍ら、和室も4室設けられており椅子式と畳式の二重生活を伺うことができる。

8 長岡家住宅(旧澤村家住宅) 国登録有形文化財 ■非公開

大正11年(1922)住宅改造博覧会に出品された住宅で、博覧会に先立って実施された第1回改良住宅設計図案懸賞応募の第1等当選をはたした谷本甲子三の案を実現したものである。木造2階建切妻造和瓦葺で外壁は人造石磨出し。門柱から玄関まではテラスになっており L字形の平面とアーチ窓を持つ応接室兼書斎が外観を特徴づけている。敷地内の2本の大王松は箕面市の保護樹木に指定されている。

9 中井家住宅 国登録有形文化財 ■非公開

旧桜村の庄屋屋敷。天保6年(1836)完成の主屋は敷地の北側に建ち、平面は「コ」の字型で玄関および残瓦葺、穴間取を基本とし、表に座敷を並べ、中央に炊台、裏に勝定場を備えた江戸時代末期の土間農家の好例。主屋の他、東面切妻造、西面入母屋造、本瓦葺の表門長屋門、二面並ぶ高塀、主屋式台西側から南にのびる庭門および蔵、主屋北西土蔵2階建の西蔵で構成されている。

10 久安寺 楼門 重要文化財 ■内部非公開

伝行基開基、真言密教道場として空海が中興した「安養院」が前身。久安元年(1145)に近衛天皇の勅願寺として再興され久安寺と改称。楼門は三間一戸、入母屋造本瓦葺、和様主体ながら巧みに唐様を折衷しており、構造技法・細部様式から室町時代初期の建築と推定されている。通例にならず金剛力士像を後の間に安置し、前方を広くとさせているのも稀である。現内には四季折々の花が咲き、花の名所でもある。

11 八坂神社 重要文化財 市指定文化財 ■内部非公開

創建は天元元年(978)に牛頭天王の霊現を得て祀ったものとされる。現在の本殿は、慶長15年(1610)に池田氏により再建されたもので一間社流造檜皮葺。蟇股・木鼻・欄間等は彩色されており、桃山時代の特色をよく残す。10月の秋祭り(神田まつり)では市指定文化財の「木造二十四孝透彫欄間」が透彫に嵌込まれる。令和元年に檜皮葺や彩色・金物などの保存修理工事が完了した。

12 大広寺 府指定文化財 ■内部非公開

五月山中腹に所在する曹洞宗の寺院。応永2年(1395)に開山し、文明年間(1469~87)に池田城主池田充政が諸堂宇を整備したとされ、池田氏の菩提寺。寄棟造二重屋根本瓦葺の本堂は、寛文10年(1670)の再建と伝わり、府内最古級の曹洞宗本堂として貴重。17世紀末建立とされる山門、及び鐘楼をはじめ、開山堂・庫裏・書院が比較的良好に残されており、江戸時代の景観を伝える。

13 稲束家住宅 国登録有形文化財 ■非公開

江戸時代、問屋や酒造などを営んだ池田有数の商家で、文人らと交流し近世近代の文化サロンとしての役割も担った。街路に東面して建ち、江戸時代後期建築の主屋は間口5間半、木造つし2階建切妻造本瓦葺平入で土間庇に角屋、北西に座敷棟を張り出す。土蔵は桁行3間、梁間2間、切妻造2階建本瓦葺妻入で座敷、庭とも商家向きの空間構成の要素、残されている日記、近世在郷町の興隆がわかる貴重な資料。

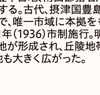
14 河村商店 (旧加島銀行池田支店) 国登録有形文化財 ■一部公開

大正7年(1918)に加島銀行池田支店として能勢街道に面して建てられた。木造モルタル2階建。石瓦葺で東西棟北に石の鬼瓦がある。正面での破損後に金属葺に改修。正面の構えは石と赤煉瓦で組構造風に見せる。屋根部分では大壁に直行する形で正面西側にマンサード屋根の破風を設け、格屋のように見せる。設計は辰野片岡建築事務所。銀行時代の金庫などを残す。現在は店舗として営業している。

D 室町のまちなみ

小林一三の発案により、箕面有馬電気軌道が呉服神社周辺の27,000坪を開発、明治43年(1910)開業遊園地にあわせて分譲を開始した郊外分譲住宅地。住宅地は、対象者を大阪に通勤する人々のサラリーマンとし、敷地規模は中流以上を区画とした2階建住宅で新新な割賦販売を採用。娯楽部や購買組合を開設するなど、地域のコミュニティの形成も意図された。石積や生垣を持つ屋敷が建ち並ぶモダンなまちなみが広がっていた。

15 いけだピアまるセンター (旧池田実業銀行本店) 国登録有形文化財 ■公開(営業)



大正14年(1925)建築の池田市内最古の鉄筋コンクリート造2階建。設計は大阪で活躍した鉄道院出身の小笠原胆。基底部と頂部を石貼とし、壁面は褐色タイル貼。銀行建築らしい重厚さを残しつつも装飾を抑え、大正末期の銀行の、固形を今に伝える。旧豊能郡の経済の中心であった近代池田を象徴する建造物で、現在は市が所有し、いけだピアまるセンター」として起業家支援拠点となっている。

16 吉田酒造 国登録有形文化財 ■非公開

元禄10年(1697)創業とされる造酒屋で、現在も銘酒「緑一」などを醸造。現主屋は明治10年(1877)の火災後に再建され、方五間規模、木造つし2階建本瓦葺平入、妻を切妻造、北を入母屋造としている。正面2階は鼻隠構造仕上げで出窓を寄り、両側に袖卯建をつける。主屋北側に隣接する蔵は桁行2間半、梁間2間。仕舞屋風の高塀も含めた佇まいは、池田酒全蔵であった江戸時代の面影を伝える。

17 小林一三記念館 (逸翁美術館旧本館) 国登録有形文化財 ■公開

阪急東宝グループを創業した小林一三の旧邸で、昭和12年(1937)に竣工。五月山の麓に、雲彩と生活とを一体に楽しむ思いを込めた隠居(山荘)と名付けた。鉄筋コンクリート造2階建、スペイン瓦型をした銀灰色の瓦を葺く。2階壁面はハーフティンバー、玄関は黄色の電山石を壁に貼り2階上部に四葉形窓りが並ぶ。小林一三の業績を紹介する施設として平成22年に開館。茶室・庭園・レストランを併設する。

18 春日大社南郷目代今西氏屋敷

国指定史跡 ■非公開

寿永2年(1183)に摂政藤原氏長者近衛基通が春日社へ寄進した荘園重永西牧郷坂郷に、奈良の興福から今西氏が目代(荘官)として下向。宝永8年(1711)建築の入母屋造平入の主屋を中心に土蔵や長屋門等が配され、延享3年(1746)に奈良春日若宮神社を遷した南郷春日神社本殿が残る。若宮殿舎、今西家文書は中世荘園の歴史を伝える。農災復旧復興事業(1995~2000)として解体修理を行う。

19 旧新田小学校 校舎 府指定文化財 ■公開日あり

国の義務教育政策が実現する中で建造された現存する府内最古の木造平屋建の校舎。明治33年(1900)建築の寄棟造桟瓦葺で、主屋から突き出た入母屋屋根の正面玄関には式台・玄関・蟇股・「學」字の鬼瓦を備える。玄関を入り中央部に応接室と教員室、その両側に土間を廊下とした「口」の字型の教室が並ぶ。昭和48年(1973)まで小学校校舎として使用、純和風の木造校舎として貴重。

20 上新田天神社 本殿 市指定文化財 ■内部非公開

旧上新田村の鎮守で千里の天神さんとよばれる。寛永3年(1626)の上新田の開発とともに創建。本殿は貞享3年(1686)建立で、一間社流造檜皮葺、正面に軒唐破風を備え、身舎は桁行1.53m、梁間1.23m、柱や梁などに唐錦子や牛などを極彩色で施した江戸時代中期の社殿形式を残す。明治38年(1905)に本殿復屋と拝殿を建立。毎年1月14日のとんど祭りは市指定無形民俗文化財。

21 松村家住宅 国登録有形文化財 ■非公開

緑豊かな東豊中住宅地にあり、昭和10年(1935)建築家下村喜三郎が設計し自邸とした郊外住宅。主屋は木造2階建瓦葺で300坪の敷地の中央に建つ。主屋の周囲は梅・桜・楓・紅葉など多種多様な樹木が植栽され、さながら森の中の一軒家の観を呈し、四季折々の花や小鳥の鳴き声が楽しめる。50mにわたり3段に連なるつつじの生垣は圧巻である。建物と環境の調和の重要性が感得できる貴重な住宅である。

22 上田家住宅 国登録有形文化財 ■非公開

昭和8年(1933)に住宅地として開発された東豊中住宅地に位置する。昭和8年建築の主屋は木造平屋建切妻造桟瓦葺、東面する玄関脇に洋風意匠の応接間を配し、西の居室部は中央部に応接室と教員室、その両側に土間を廊下とした「口」の字型の教室が並ぶ。昭和48年(1973)まで小学校校舎として使用、純和風の木造校舎として貴重。

23 住吉神社 能舞台(神楽殿) 国登録有形文化財 ■公開

明治31年(1898)大阪博物場に建てられた府内最古の能舞台。昭和22年(1947)に大阪天満宮に移築、昭和56年に現位置へ再移築。構造形式は西本願寺北能舞台に類似。総柱で入母屋造鋼板葺、舞台は方一間(実長3間)、鏡板・地板・楽屋で構成。当社の創建は不詳だが平安時代の本殿などの再建記録がある。現社殿は大阪市中之島にあった豊国神社の社殿を昭和36年に移築。

24 カトリック豊中教会 国登録有形文化財 ■一部公開

バリタ因宣教会が北摂の拠点として、ヴェーカム建築家ヤン・ヨゼフ・スウガー設計で昭和14年(1939)に建築。三廊式平面の聖堂と、棟を直交して接続するコリドー部からなる。聖堂は木造平屋一部2階建入母屋造と鐘塔に側高棟を組み合わせた構成。内部には丸太柱・格天井・祭壇上の折上天井など、和風意匠を興様的に取入れた木造和風教会の好例。聖堂の西側には、木造2階建切妻造桟瓦葺、南壁面に煙突を立てた可奈新郎邸。

25 榎原家住宅 国登録有形文化財 ■非公開

米作と畑作によって栄えた小曽根にあり、能勢街道・吹田街道の分岐点付近に立地する、天保年間(1830~44)の建築とされる主屋は敷地中央に南面し、木造つし2階入母屋造本瓦葺で下屋を前から葺き、東隣を広い土間とし、六間取の前列土間型で、前面に大きな張出しを設けて、その上に格子窓を設けた。長屋門は敷地の北側に建ち、母屋と東隣の蔵とで囲まれた前庭を形成している。

26 水無瀬神宮 重要文化財 国登録有形文化財 ■内部非公開(予約による特別公開あり)

鎌倉時代、承久の変後、隠岐で崩御された後鳥羽上皇の遺勅により、水無瀬離宮跡に菩提を弔う御影堂・法華堂が建てられた。明治時代、神仏分離により神社となり、御門天皇・順徳上皇の御霊を合祀。昭和3年(1928)、社殿のうち拝殿・幣殿を改築新造。昭和14年に神宮と改称。客殿及び後水尾天皇が下賜した茶室「煙心亭」が重要文化財。また、本殿・神門及び築地塀・手水舎・神庫・拝殿及び幣殿が国登録有形文化財。

27 関大明神社 本殿 府指定文化財 ■内部非公開

西国街道沿いの大阪と京都の府境に建つ。この地は、奈良時代の関跡と伝えられ、摂津と山城を結ぶ交通の要衝であった。創建年代は不詳。本殿は覆屋内にあり、一間社流造檜皮葺、軒反の彫刻は左右対称の構図を持つ草花透彫で、頭貫木鼻の禅宗様系の若葉彫刻から室町時代中期に建立されたとみられる。身舎内部は内陣外陣に二分され、外陣の左右には府内最古と思われる石造狛犬が安置されている。

離宮の水

島本町一帯は水質の良い地下水に恵まれている。水無瀬神宮内の井戸水は、水無瀬離宮跡にあるため「離宮の水」と呼ばれ、府内唯一の環境省選定名水百選。神職に用いられる神聖な水であったが、現在も茶道等に利用されており、「離宮の水保存会」によって維持管理されている。

28 若山神社 本殿 国登録有形文化財 ■内部非公開

町の東南部にある若山の中腹で平野部を見下ろす景勝地に建ち、創建は大宝元年(701)と伝わる。本殿は文化4年(1807)に景色の開ける東向きに建築され、三間社流造で、中央柱間を広くとる。身舎の柱は円柱で、軒は二軒繁垂木、屋根はかつては檜皮葺だったと伝わる。手前に大きく突き出した向唐破風造の向拝には、近代らしい装飾意匠の彫刻を施しており、特徴的な形式の神社本殿である。

29 島本町立歴史文化資料館(旧麗天館) ■公開

桁行11間、梁間7間の入母屋造桟瓦葺に裳階を廻らせ、入母屋屋根の玄関を構える。昭和16年(1941)に建築され、近衛文麿の書による「麗天館」の扁額が掲げられた、旅代料亭を反映した、全体的に簡素だが、日本の伝統的な社寺建築の要素を用い、規模に相応しい堂々とした意匠にまとめられている。内部は大空間で折上格天井をもち、中央のホールには回廊が廻っている。片側に設けられた舞台は、当初演奏として使用された。

島本町

大阪府の北東部に位置し、山崎西遺跡など旧石器時代から人々の営みが見られる。奈良時代には東大寺の荘園が置かれ、地理的に山陽道が通る国境の地であり、平安時代以降、山崎に駅と津が置かれ、水陸交通の要衝であった。水無瀬川は万葉集の歌枕になる景勝地で、皇族や貴族たちの遊猟地であった。鎌倉時代、後鳥羽上皇は水無瀬離宮を造営し御幸は30数回に及んだ。南北朝時代の「太平記」の楠公父子訣別地が桜井とされている。近代以降、鉄道の開通などにより京阪間に位置し交通の利便性が高く良好な居住環境を形成している。

J 日本民家集落博物館 ■公開

重要文化財 府指定文化財 他

昭和31年(1956)に大阪府が関西電力株式会社からダム建設で水没する岐阜県白川村の合掌造民家の寄贈を受け旧部緑地公園に移築公開。当初は豊中市立民俗館、昭和35年に現博物館となる。北は岩手県「南部の曲家」から南は鹿児島県「奄美大島の高倉」まで各地の風土・習慣を伝える12棟の民家を移築復原。関連民具と合わせて展示する日本初の野外博物館。「摂津能勢の民家」(写真)など3棟が重要文化財。

K 千里ニュータウン

昭和30年(1955)頃に始まった大阪都市圏への人口集中に伴う既成市街地周辺のスプロールの拡大に対応し、良好な住環境を備えた大量の住宅供給を図るために、1960~1970年大阪府企業局によって建設された。大阪都心から北へ約15kmにある千里丘陵1160haで、計画人口15万人、計画住宅戸数3万7330戸をめざした最初の大規模ニュータウンである。その周囲に配された千里緑地は、今も残っている。

L 大阪京都間鉄道煉瓦共濯群

おおさかきょうとかんてつれんがどうきょくん

現在の只大阪・京都区間内(明治10年(1877)全通)に残されている煉瓦造の鉄道橋及び隧道群であり、欠円アーチやねじりまんぼなどの特徴をもつ。西本市(2件)・高槻市(3件)の選翼土木遺産以外にも多く残され、現在も利用されている。斜めアーチを掛けるために用いられた特殊な技法「ねじりまんぼ」は京本市の門ノ前跨道橋(田中のふまた)(写真)、高槻市の奥田ノ端隧道で見ることができる。

M 安威のまちなみ

安威周辺は、藤原鎌足ゆかりの地として知られ、中臣氏に縁足の子である定恵間瀬の寺とされる太念寺、鎌足の墓もあったと言われている阿武山古墳や中臣氏の祖神が祭られている阿為神社、南西に鎌足の邸があったと推定される鎌足神社、農村集落で在郷町的な古いたたずまいを残す清酒や醤油が作られ、瀬戸出窓を備えた古い民家が点在する。清酒や醤油が作られ、瀬戸出窓を備えた古い民家が点在する。府指定天然記念物であるお歯黒のイチョウがある。

高槻市

大阪府の北東部に位置し、旧石器時代から人の営みがあり弥生時代の安満遺跡、古墳時代の今城塚古墳などが残る。古代には山陽道(後の西国街道)沿いに嶋上郡衙が置かれ、中世以降、西国街道の芥川は宿場町、富田は寺内町を形成し、戦国大名三好長慶や高山右近が支配した。江戸時代、溝土水井氏は城下町や低湿地の開発など領国内を整備、芥川・富田は在郷町として発展した。淀川は三十石船の往来など運が盛んになり、河港が整備された。明治時代以降、鉄道の開通で工業都市・ベッドタウンとして発展。近年は「歴史のまち」であるとともに「将棋のまち」として全国に魅力を発信している。

30 普門寺 重要文化財 国指定名勝 ■公開(要予約)

臨済宗妙心寺派の寺院で、明徳元年(1390)に説渡によって開かれた。万文(1592)年間、天和(1681)に建築、正保2年(1645)に移築(棟札記載)。桁行7間、梁間5間半の入母屋造柿葺で南面して建つ。平面は禅宗方丈形式の六間取で、正面に広縁を設け、下間(東側)の桁行2間に対して上間(西側)は1間半で左右非対称の間取。名勝として江戸時代初期の枯山水庭はか庭園を取巻く境内一帯を指定。

31 本照寺 市指定文化財 ■公開

浄土真宗本願寺派の寺院で、応永34年(1427)本願寺第七代存如上人により創建。当時は光照寺と称していたが本願寺の「本」を下付され本願寺に改称。本堂は桁行2.75、7.8m、梁間2.8、11.8m、特三間の入母屋造本瓦葺で寛政10年(1798)に再建された。平成2年に本堂、平成17年に山門・東門・鐘楼が市指定文化財に指定された。

32 三輪神社 市指定文化財 ■内部非公開

創建年代は不詳で、大神神社から勧請したとされ、もと菅門寺の鎮守社も伝わる。寛永16年(1639)に菅門寺の龍深神節により再興され、酒の神様を合祀。神社は三間社流造で、本社本殿は一間社流造で正面が千鳥破風、軒唐破風付で屋根は銅板葺の小規模で簡素な建物で、細部の絵様装飾形は古式で輪郭が太く江戸時代の様式を持つ。本社本殿・絵馬所・末社春日社が市指定文化財。

33 古畑家住宅 国登録有形文化財 ■非公開

ことばたじゅうたく

江戸時代後期からの建造物が残る古畑家は、山間部の傾斜地に敷地を占め、中央に入母屋造桟瓦葺の主屋が南面して建つ。奥まった玄関を東向きに設け、西側に座敷などを喰違いに配する。主屋の東南に長屋門、それに接して東二の蔵があり、他に東一の蔵・米蔵・新蔵・西の蔵が建並び、離れ座敷とともに重厚な屋敷構えをつくる。大型の近代農家建築であり、その屋敷景観は山村景観形成に寄与している。

34 郡山宿本陣 国指定史跡 ■調整中

西国街道の中央に位置する重要な宿本陣。現存する建物は、享保3年(1718)に全焼後、同6年に再建されたもので、本造平屋建瓦葺。左に御成門・玄関・奥座敷・家臣用の部屋等の客用施設、右に土間を挟んで、座敷・居間を設ける。他に茶室・納屋・土蔵・土塀が残る。御成門近くの梅の老樹が花を咲かせたことから「梅の本陣」の愛称で親しまれてきた。宿場町として栄えた往時の面影を残し、交通史の遺跡として貴重。

35 総持寺 市指定文化財 ■特別公開

高野山真言宗で千手観音を本尊とし西国三十三所観音霊場22番札所。寺伝では中納言藤原山陽が仁和2年(886)に創建。本堂は元禄12年(1699)に再興、方七間、内陣間、入母屋造本瓦葺で江戸初期仏堂の代表。仁王門は均整のとれた楼門。宝庫は全国でも稀少な校倉造。知来荒神堂と鎮守社は江戸初期の当地域の建築様式。東門は禅宗様の四脚門。庫裏は増築時に移築。鐘楼は江戸中期。近世建物の宝庫。

36 真宗大谷派茨木別院 ■公開

慶長8年(1603)創建。寺地は茨木城主片桐且元が城内の一郭を寄進、同11年本堂が落慶。江戸時代、摂津における東本願寺末寺の触頭寺院の一つ。現在の本堂は安永6年(1777)頃、大谷一族の建立。現代に至るまで数度に渡って桁行30mの大堂。真宗寺院本堂の典型、一方で矢来内を外陣より一段高め余間まわりを円柱とし高い寺格も表す。本堂南東側にある鐘楼は、花筒岩の基礎上に唐破風を形式で切妻造本瓦葺。

37 川本家住宅 国登録有形文化財 ■一部公開

北摂地域における歴史的街道

西国街道 さいごくかいどう

古代山陽道の後身。狭義には京都から兵庫西宮に至る間。江戸時代には山崎通と公称され、山崎(大山崎町・島本町)・芥川(高槻市)・郡山(茨木市)・瀬川(箕面市)・昆陽(伊丹市)・西宮(西宮市)の宿駅が設けられ、大阪を経ずに往来できる脇街道として利用された。

能勢街道 のせかいどう

大阪から池田を経て能勢地方を結び、池田街道或は馬街道とも言われた。道筋は変遷するが大阪市津から淀川を渡り池田市を経て兵庫川西市東部を横切り、豊能町から一旦川西市に入り能勢町に至る。その先はひいらぎ峠で府境に達し、能勢地方の炭や銅などの産物が運ばれた。

清坂街道 きよさかかいどう

大阪、茨木方面から鳥居峠(現清坂峠)を越えて京都府亀岡市に至る。明治25年以前は亀岡街道と呼ばれ、丹波御可は茨木街道と呼ばれていた。近世は大阪天満橋を起点に北進して中津川、神崎川を渡り、吹田市に入り千里丘陵東麓から茨木市大岩、下音羽を経由して峠を越える。

丹州街道 たんしゅうかいどう

池田市から豊能町を経て兵庫県篠山市に至る街道。丹波街道、篠街道と呼ばれる。時代によって道筋が異なる。明治時代には兵庫県川西市一庫出合橋で能勢街道から分岐し、猪名川支流の大路次川を遡り能勢町の山間盆地に入り山辺川を遡上し、天王で峠を越えて篠山に至る。

亀岡街道 かめおかかいどう

大阪から亀岡に至る街道の一つ。茨木市福井まで清坂街道と重複する。明治25年(1892)、同地で分岐し、豊能町牧から府境を越えて亀岡に至る新道が敷設され、これを亀岡街道と公称した。道は佐保川沿いに千提寺、上音羽から豊能町に入り木代、余野、牧に至り府境を越える。

北摂在郷町の酒蔵めぐり

江戸時代、在郷町として栄えた池田は地の利をいかし、猪名川の伏流水を利用して作られた酒は名産品となった。最盛期には下り酒として江戸に入る酒の1割近くを占めた。しかし、馬借が特権を得て輸送を独占したため猪名川水系が利用できず牛馬によって神崎まで運び、そこから川船、樽廻船で江戸まで輸送したためコストが高かった。そのことが海上輸送に有利な灘五郷の台頭を許す一因になった。現在、2軒の酒蔵が「池田酒」の伝統を継承し、人気のある酒を造り続けている。一方、富田も寺内町から在郷町を形成、伊丹・池田と並び称される下り酒銘醸地と言われ、酒造業が主産業であった。富田の台地の下を流れる地下水は、ミネラルに富む酒造りに適したもので周辺地域の米は酒造好適米として有名であった。最盛期は江戸時代の初め頃と言われ、20軒以上の造り酒屋が軒を連ねた。酒は、牛馬で唐崎まで運び、淀川の川舟で大坂へ送られ、樽廻船に積み込まれ江戸に運ばれた。富田では今も2軒の酒蔵が江戸時代から続く地酒造りの伝統を守り継いでいる。

国立国会図書館ウェブサイトから転載

《マップを利用される皆さんへ》
エリア内の文化財建造物で、所有者様のご事情などにより、掲載していないものがございます。ご了承いただきますようお願いいたします。
公開と表記のある建物でも、期間限定の場合や内部が非公開の場合などがあり、現在執務を行っている建物や居住されている住宅も多くあります。特に住宅は原則的に非公開です。マップに掲載された公開非公開情報は事情により変更になる場合がありますので、訪問される場合は必ず事前にご確認ください。建物を許可なくのぞきこんだり、侵入したり、所有者や建物を利用されている皆様にご迷惑がかからないように、くれぐれも気を付けていただきますよう、お願いいたします。
なお、このマップの歴史などに関する記述には「豆識」も含め、諸説ある場合がございます。併せて、あらかじめご承知おきくださいますようお願いいたします。

大阪万博の建造物
昭和45年(1970)に千里丘陵で開催された日本万国博覧会。中心的役割を果たしたのは日本を代表する建築家・丹下健三。会場基本計画は丹下研究室と西山夘三研究室の共同設計。また丹下は基幹施設プロデューサーとして設計チームを組織し、チームの建築家達は様々な施設を計画した。自身はお祭り広場の上にスペースフレームの大屋根を計画、岡本太郎の太陽の塔とともに仕大な公共空間を実現。中心施設のシンボルゾーンの北側に配置された太陽の塔に対峙して、南側に建てられたのが、菊竹清訓によってメタボリズムを体現した塔、エキスポタワーであった。(平成15年解体)。川崎清による万国博美術館は、会期後に大阪国際美術館として開館。平成16年シーザー・ペリによって中之島に建てられた新館に引き継がれた。現在、万博記念公園内には太陽の塔や大屋根スペースフレームの一部を保存展示、前川国男の鉄鋼館がEXPO'70パビリオンとして公開されている。

『豆識』とは・・ヘリテージマネージャーが「まめまめ」しく集め、「まめ」のようにひとつひとつひろいあげたちょっとした知識のことで、大阪府ヘリテージマネージャーオリジナル用語です。

ヘリテージマネージャーって?

地域社会における歴史文化遺産のあり方を見据え、その保全と活用を推進するため研鑽をつみ、地域遺産の保全活用に貢献する活動を行う人を、ヘリテージマネージャーとよびます。(公社)大阪府建築士会は、ヘリテージマネージャーの育成と研修を行うとともに、ヘリテージマネージャーに関する情報を集積し、ヘリテージマネージャーたちの地域遺産、中でも特に建造物の保全・活用などの活動を支えています。

ヘリテージマネージャーの活動

ヘリテージマネージャーは地域遺産の保全と活用に貢献するため、下記のような様々な活動をしています。
○地域の歴史文化遺産を保全・活用し、まちづくりの中で活かす方法を提案します
○登録文化財に関する調査や申請のための手続きをお手伝いします
○ヘリテージマネージャーの育成や、継続的研修をサポートします
○ヘリテージマネージャーの活動情報は共有化し、地域に役立つ情報発信を積極的に行います

大阪府ヘリテージマネージャー協議会

大阪府建築士会主催の大阪府ヘリテージマネージャー育成講座修了生たちによる協議会組織。ヘリテージマネージャー育成講座や一般向けイベントなど、情報公開・相談を含めてヘリテージマネージャーの活動を支えています。

ヘリテージマネージャーへの相談

地域の歴史文化遺産、特に建造物に関する保全・活用のアドバイスなど、具体的に相談できるヘリテージマネージャーの紹介、ヘリテージマネージャーに関することなら何でも大阪府建築士会までお気軽にご相談ください。
連絡先は下記参照。

文化庁 令和5年度文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)
製　作:公益社団法人大阪府建築士会 https://www.aba-osakafu.or.jp
電　話:06-6947-1961
協　力:大阪府ヘリテージマネージャー協議会
大阪府登録文化財所有者の会
企画・制作:ヘリテージ委員会マップ作成TF
大阪文化財ナビ:https://www.osaka-bunkazainavi.org
写真・資料提供:大阪府、能勢町、豊能町、箕面市、池田市、豊中市、島本町、高槻市、茨木市、摂津市、吹田市、大阪文化財ナビ
デザイン:gemini
この地図の作成に当たっては、電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成しました。

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

大阪文化財ナビ

北摂・歴史的建造物マップ

表紙写真:水無瀬神宮・茶室「揺心亭」(重要文化財)
水無瀬に離宮を営んだ後鳥羽上皇は、承久3年(1221)倒幕の兵を挙げ敗北。隠岐に流され、後堀河、後高倉、上皇は、江戸幕府との対立を深めるなか、後鳥羽上皇への共感からか、赤線の地に、御所にあった茶室(茶屋)を下賜したと伝える。この茶室の特色は、数寄屋造の意匠をさらに凝縮し、結集した密度をもつ点にある。本来書院に用いられる板天井とし、院の御座所としての上段の間の格式を保ちながら、茶屋としてのくつろぎを得るため、吹寄格子とし、蟇・菱灯・山欅・萩・薄などと雑谷との軒木で天井を張って格式をくずしている。

北摂(豊能・三島)の概観

「北摂」は、令制国であった摂津国の北部に由来する地域名称であり、一般的には現在の大阪府北部、すなわち豊能(とよの)及び三島両地域を指す場合が多いが、兵庫県南東部内陸の阪神北地域(伊丹・宝塚・川西・三田各市及び猪名川町)を指すこともある。当該マップは前者を扱うものである。

豊能の概観

大阪府の北西部に位置し、東を千里丘陵、西を猪名川、南を神崎川と接する西摂平野の東部と、その北部方面の小盆地の連なる山間部からなる地域を「豊能(とよの)」と呼ぶ。現在の豊中市・池田市・箕面市・豊能郡豊能町・同郡能勢町に当たる。豊能という名は、明治31年(1898)摂津国豊島(てしま)郡と能勢郡が合併され豊能郡となったことに由来する。この地域は、旧石器・縄文・弥生時代から広く開け、古墳時代には、今日も、畑(はた)、服部(はっとり)の地名が残るように、池田を中心に秦氏が渡来したことが考えられる。また豊中市の岡町から桜塚一帯には、桜塚古墳群が築造された。古代には、箕面の滝・勝尾寺・箕面寺を中心に修験道や宗派を超えた信仰の地となる。平安時代から室町時代にかけては春日社領などの荘園が多く営まれる。西国街道と能勢街道の交差する要衝の地であり、南北朝時代の瀬川の合戦など多くの戦の舞台となる。室町時代には池田氏や能勢氏といった国人が台頭するが戦国大名とはならなかった。江戸時代、この地域は、府内の他の地域同様に幕府領・旗本領・小藩などに細分化されて支配された。その中で池田は、能勢を背景とした産物の集散地として賑わい、伊丹と並ぶ酒造業が発達し地域経済が潤い、儒学者田中桐江や絵師呉春らの多くの文人が来居し一文化圏を形成した。また、旗本能勢頼次が開いた能勢妙見堂は全国から参拝者を集めた。明治時代の終わりに、小林一三の箕面有馬電気軌道(現阪急電鉄)敷設により宅地開発が進む。大正11年(1922)日本初の「住宅改造博覧会」が箕面で開催される。戦後の千里ニュータウンの開発や昭和45年(1970)の日本万国博覧会により道路網も整備され、大阪府北西部のベッドタウンとして今も発展をとげている。

千里ニュータウン全景(昭和45年頃)

三島の概観

大阪府の北東部を流れる淀川の北岸地域は「三島」と呼ばれる。現在の吹田市・摂津市・茨木市・高槻市・三島郡島本町に当たる。『伊予国風土記』逸文には、仁徳天皇の御世に大山積神(おおやまつみのかみ)が百済より渡来して摂津国の御島(みしま)に鎮座し、のちに伊予国の大三島に勧請されたとあり、それが「三島」の語源の一つとも言われる。弥生時代、淀川流域では稲作が盛んに行われ、垂水遺跡や東奈良遺跡、安満遺跡などが広く分布する。5〜6世紀の古墳時代、東西に連なる山々の麓には太田茶臼山古墳や今城塚古墳などが築造され、三島古墳群と呼ばれている。三島は、平安京と西国とを結ぶ水陸交通の要衝であり、河湊が発達し大坂への物資の輸送や人々の往来が盛んであった。下流の吹田では支流の神崎川に回漕業が発達し、多くの商家で賑わった。また、古くから貴族の別荘地が多く、後鳥羽上皇の水無瀬離宮や宇多天皇の鳥養院も営まれた。浄土真宗の寺内町から発達した富田は、江戸時代に池田・伊丹と並んで酒造業が盛んになり、その名は江戸にまで知られ、紅屋など豪商を輩出し文人墨客も訪れ町人文化が栄えた。西国街道沿いには、茨木の郡山宿本陣、キリシタン大名高山右近の高槻城、高槻の一里塚など多くの史跡があり、当時の様子を今にとどめている。現在の三島はJR線・阪急線・名神高速・新名神高速・中国道・近畿道などが走り、北大阪の交通物流の拠点となっており、企業や大学の進出も活発で人口はさらに増加傾向にある。

今城塚古墳

豊能地域

摂津地域

摂津市
JR京都線
JR東海道本線
阪急京都線
JR東海道本線
摂津富田駅
JR京都線
摂津駅
摂津市役所
摂津市立第一中学校
摂津市立第二中学校
摂津市立第三中学校
摂津市立第四中学校
摂津市立第五中学校
摂津市立第六中学校
摂津市立第七中学校
摂津市立第八中学校
摂津市立第九中学校
摂津市立第十中学校
摂津市立第十一中学校
摂津市立第十二中学校
摂津市立第十三中学校
摂津市立第十四中学校
摂津市立第十五中学校
摂津市立第十六中学校
摂津市立第十七中学校
摂津市立第十八中学校
摂津市立第十九中学校
摂津市立第二十中学校
摂津市立第二十一中学校
摂津市立第二十二中学校
摂津市立第二十三中学校
摂津市立第二十四中学校
摂津市立第二十五中学校
摂津市立第二十六中学校
摂津市立第二十七中学校
摂津市立第二十八中学校
摂津市立第二十九中学校
摂津市立第三十中学校
摂津市立第三十一中学校
摂津市立第三十二中学校
摂津市立第三十三中学校
摂津市立第三十四中学校
摂津市立第三十五中学校
摂津市立第三十六中学校
摂津市立第三十七中学校
摂津市立第三十八中学校
摂津市立第三十九中学校
摂津市立第四十中学校
摂津市立第四十一中学校
摂津市立第四十二中学校
摂津市立第四十三中学校
摂津市立第四十四中学校
摂津市立第四十五中学校
摂津市立第四十六中学校
摂津市立第四十七中学校
摂津市立第四十八中学校
摂津市立第四十九中学校
摂津市立第五十中学校
摂津市立第五十一中学校
摂津市立第五十二中学校
摂津市立第五十三中学校
摂津市立第五十四中学校
摂津市立第五十五中学校
摂津市立第五十六中学校
摂津市立第五十七中学校
摂津市立第五十八中学校
摂津市立第五十九中学校
摂津市立第六十中学校
摂津市立第六十一中学校
摂津市立第六十二中学校
摂津市立第六十三中学校
摂津市立第六十四中学校
摂津市立第六十五中学校
摂津市立第六十六中学校
摂津市立第六十七中学校
摂津市立第六十八中学校
摂津市立第六十九中学校
摂津市立第七十中学校
摂津市立第七十一中学校
摂津市立第七十二中学校
摂津市立第七十三中学校
摂津市立第七十四中学校
摂津市立第七十五中学校
摂津市立第七十六中学校
摂津市立第七十七中学校
摂津市立第七十八中学校
摂津市立第七十九中学校
摂津市立第八十中学校
摂津市立第八十一中学校
摂津市立第八十二中学校
摂津市立第八十三中学校
摂津市立第八十四中学校
摂津市立第八十五中学校
摂津市立第八十六中学校
摂津市立第八十七中学校
摂津市立第八十八中学校
摂津市立第八十九中学校
摂津市立第九十中学校
摂津市立第九十一中学校
摂津市立第九十二中学校
摂津市立第九十三中学校
摂津市立第九十四中学校
摂津市立第九十五中学校
摂津市立第九十六中学校
摂津市立第九十七中学校
摂津市立第九十八中学校
摂津市立第九十九中学校
摂津市立第百中学校
摂津市立第百一中学校
摂津市立第百二中学校
摂津市立第百三中学校
摂津市立第百四中学校
摂津市立第百五中学校
摂津市立第百六中学校
摂津市立第百七中学校
摂津市立第百八中学校
摂津市立第百九中学校
摂津市立第百十中学校
摂津市立第百十一中学校
摂津市立第百十二中学校
摂津市立第百十三中学校
摂津市立第百十四中学校
摂津市立第百十五中学校
摂津市立第百十六中学校
摂津市立第百十七中学校
摂津市立第百十八中学校
摂津市立第百十九中学校
摂津市立第百二十中学校
摂津市立第百二十一中学校
摂津市立第百二十二中学校
摂津市立第百二十三中学校
摂津市立第百二十四中学校
摂津市立第百二十五中学校
摂津市立第百二十六中学校
摂津市立第百二十七中学校
摂津市立第百二十八中学校
摂津市立第百二十九中学校
摂津市立第百三十中学校
摂津市立第百三十一中学校
摂津市立第百三十二中学校
摂津市立第百三十三中学校
摂津市立第百三十四中学校
摂津市立第百三十五中学校
摂津市立第百三十六中学校
摂津市立第百三十七中学校
摂津市立第百三十八中学校
摂津市立第百三十九中学校
摂津市立第百四十中学校
摂津市立第百四十一中学校
摂津市立第百四十二中学校
摂津市立第百四十三中学校
摂津市立第百四十四中学校
摂津市立第百四十五中学校
摂津市立第百四十六中学校
摂津市立第百四十七中学校
摂津市立第百四十八中学校
摂津市立第百四十九中学校
摂津市立第百五十中学校
摂津市立第百五十一中学校
摂津市立第百五十二中学校
摂津市立第百五十三中学校
摂津市立第百五十四中学校
摂津市立第百五十五中学校
摂津市立第百五十六中学校
摂津市立第百五十七中学校
摂津市立第百五十八中学校
摂津市立第百五十九中学校
摂津市立第百六十中学校
摂津市立第百六十一中学校
摂津市立第百六十二中学校
摂津市立第百六十三中学校
摂津市立第百六十四中学校
摂津市立第百六十五中学校
摂津市立第百六十六中学校
摂津市立第百六十七中学校
摂津市立第百六十八中学校
摂津市立第百六十九中学校
摂津市立第百七十中学校
摂津市立第百七十一中学校
摂津市立第百七十二中学校
摂津市立第百七十三中学校
摂津市立第百七十四中学校
摂津市立第百七十五中学校
摂津市立第百七十六中学校
摂津市立第百七十七中学校
摂津市立第百七十八中学校
摂津市立第百七十九中学校
摂津市立第百八十中学校
摂津市立第百八十一中学校
摂津市立第百八十二中学校
摂津市立第百八十三中学校
摂津市立第百八十四中学校
摂津市立第百八十五中学校
摂津市立第百八十六中学校
摂津市立第百八十七中学校
摂津市立第百八十八中学校
摂津市立第百八十九中学校
摂津市立第百九十中学校
摂津市立第百九十一中学校
摂津市立第百九十二中学校
摂津市立第百九十三中学校
摂津市立第百九十四中学校
摂津市立第百九十五中学校
摂津市立第百九十六中学校
摂津市立第百九十七中学校
摂津市立第百九十八中学校
摂津市立第百九十九中学校
摂津市立第二百中学校
摂津市立第二百一中学校
摂津市立第二百二中学校
摂津市立第二百三中学校
摂津市立第二百四中学校
摂津市立第二百五中学校
摂津市立第二百六中学校
摂津市立第二百七中学校
摂津市立第二百八中学校
摂津市立第二百九中学校
摂津市立第二百十中学校
摂津市立第二百十一中学校
摂津市立第二百十二中学校
摂津市立第二百十三中学校
摂津市立第二百十四中学校
摂津市立第二百十五中学校
摂津市立第二百十六中学校
摂津市立第二百十七中学校
摂津市立第二百十八中学校
摂津市立第二百十九中学校
摂津市立第二百二十中学校
摂津市立第二百二十一中学校
摂津市立第二百二十二中学校
摂津市立第二百二十三中学校
摂津市立第二百二十四中学校
摂津市立第二百二十五中学校
摂津市立第二百二十六中学校
摂津市立第二百二十七中学校
摂津市立第二百二十八中学校
摂津市立第二百二十九中学校
摂津市立第二百三十中学校
摂津市立第二百三十一中学校
摂津市立第二百三十二中学校
摂津市立第二百三十三中学校
摂津市立第二百三十四中学校
摂津市立第二百三十五中学校
摂津市立第二百三十六中学校
摂津市立第二百三十七中学校
摂津市立第二百三十八中学校
摂津市立第二百三十九中学校
摂津市立第二百四十中学校
摂津市立第二百四十一中学校
摂津市立第二百四十二中学校
摂津市立第二百四十三中学校
摂津市立第二百四十四中学校
摂津市立第二百四十五中学校
摂津市立第二百四十六中学校
摂津市立第二百四十七中学校
摂津市立第二百四十八中学校
摂津市立第二百四十九中学校
摂津市立第二百五十中学校
摂津市立第二百五十一中学校
摂津市立第二百五十二中学校
摂津市立第二百五十三中学校
摂津市立第二百五十四中学校
摂津市立第二百五十五中学校
摂津市立第二百五十六中学校
摂津市立第二百五十七中学校
摂津市立第二百五十八中学校
摂津市立第二百五十九中学校
摂津市立第二百六十中学校
摂津市立第二百六十一中学校
摂津市立第二百六十二中学校
摂津市立第二百六十三中学校
摂津市立第二百六十四中学校
摂津市立第二百六十五中学校
摂津市立第二百六十六中学校
摂津市立第二百六十七中学校
摂津市立第二百六十八中学校
摂津市立第二百六十九中学校
摂津市立第二百七十中学校
摂津市立第二百七十一中学校
摂津市立第二百七十二中学校
摂津市立第二百七十三中学校
摂津市立第二百七十四中学校
摂津市立第二百七十五中学校
摂津市立第二百七十六中学校
摂津市立第二百七十七中学校
摂津市立第二百七十八中学校
摂津市立第二百七十九中学校
摂津市立第二百八十中学校
摂津市立第二百八十一中学校
摂津市立第二百八十二中学校
摂津市立第二百八十三中学校
摂津市立第二百八十四中学校
摂津市立第二百八十五中学校
摂津市立第二百八十六中学校
摂津市立第二百八十七中学校
摂津市立第二百八十八中学校
摂津市立第二百八十九中学校
摂津市立第二百九十中学校
摂津市立第二百九十一中学校
摂津市立第二百九十二中学校
摂津市立第二百九十三中学校
摂津市立第二百九十四中学校
摂津市立第二百九十五中学校
摂津市立第二百九十六中学校
摂津市立第二百九十七中学校
摂津市立第二百九十八中学校
摂津市立第二百九十九中学校
摂津市立第三百中学校
摂津市立第三百一中学校
摂津市立第三百二中学校
摂津市立第三百三中学校
摂津市立第三百四中学校
摂津市立第三百五中学校
摂津市立第三百六中学校
摂津市立第三百七中学校
摂津市立第三百八中学校
摂津市立第三百九中学校
摂津市立第三百十中学校
摂津市立第三百十一中学校
摂津市立第三百十二中学校
摂津市立第三百十三中学校
摂津市立第三百十四中学校
摂津市立第三百十五中学校
摂津市立第三百十六中学校
摂津市立第三百十七中学校
摂津市立第三百十八中学校
摂津市立第三百十九中学校
摂津市立第三百二十中学校
摂津市立第三百二十一中学校
摂津市立第三百二十二中学校
摂津市立第三百二十三中学校
摂津市立第三百二十四中学校
摂津市立第三百二十五中学校
摂津市立第三百二十六中学校
摂津市立第三百二十七中学校
摂津市立第三百二十八中学校
摂津市立第三百二十九中学校
摂津市立第三百三十中学校
摂津市立第三百三十一中学校
摂津市立第三百三十二中学校
摂津市立第三百三十三中学校
摂津市立第三百三十四中学校
摂津市立第三百三十五中学校
摂津市立第三百三十六中学校
摂津市立第三百三十七中学校
摂津市立第三百三十八中学校
摂津市立第三百三十九中学校
摂津市立第三百四十中学校
摂津市立第三百四十一中学校
摂津市立第三百四十二中学校
摂津市立第三百四十三中学校
摂津市立第三百四十四中学校
摂津市立第三百四十五中学校
摂津市立第三百四十六中学校
摂津市立第三百四十七中学校
摂津市立第三百四十八中学校
摂津市立第三百四十九中学校
摂津市立第三百五十中学校
摂津市立第三百五十一中学校
摂津市立第三百五十二中学校
摂津市立第三百五十三中学校
摂津市立第三百五十四中学校
摂津市立第三百五十五中学校
摂津市立第三百五十六中学校
摂津市立第三百五十七中学校
摂津市立第三百五十八中学校
摂津市立第三百五十九中学校
摂津市立第三百六十中学校
摂津市立第三百六十一中学校
摂津市立第三百六十二中学校
摂津市立第三百六十三中学校
摂津市立第三百六十四中学校
摂津市立第三百六十五中学校
摂津市立第三百六十六中学校
摂津市立第三百六十七中学校
摂津市立第三百六十八中学校
摂津市立第三百六十九中学校
摂津市立第三百七十中学校
摂津市立第三百七十一中学校
摂津市立第三百七十二中学校
摂津市立第三百七十三中学校
摂津市立第三百七十四中学校
摂津市立第三百七十五中学校
摂津市立第三百七十六中学校
摂津市立第三百七十七中学校
摂津市立第三百七十八中学校
摂津市立第三百七十九中学校
摂津市立第三百八十中学校
摂津市立第三百八十一中学校
摂津市立第三百八十二中学校
摂津市立第三百八十三中学校
摂津市立第三百八十四中学校
摂津市立第三百八十五中学校
摂津市立第三百八十六中学校
摂津市立第三百八十七中学校
摂津市立第三百八十八中学校
摂津市立第三百八十九中学校
摂津市立第三百九十中学校
摂津市立第三百九十一中学校
摂津市立第三百九十二中学校
摂津市立第三百九十三中学校
摂津市立第三百九十四中学校
摂津市立第三百九十五中学校
摂津市立第三百九十六中学校
摂津市立第三百九十七中学校
摂津市立第三百九十八中学校
摂津市立第三百九十九中学校
摂津市立第四百中学校
摂津市立第四百一中学校
摂津市立第四百二中学校
摂津市立第四百三中学校
摂津市立第四百四中学校
摂津市立第四百五中学校
摂津市立第四百六中学校
摂津市立第四百七中学校
摂津市立第四百八中学校
摂津市立第四百九中学校
摂津市立第四百十中学校
摂津市立第四百十一中学校
摂津市立第四百十二中学校
摂津市立第四百十三中学校
摂津市立第四百十四中学校
摂津市立第四百十五中学校
摂津市立第四百十六中学校
摂津市立第四百十七中学校
摂津市立第四百十八中学校
摂津市立第四百十九中学校
摂津市立第四百二十中学校
摂津市立第四百二十一中学校
摂津市立第四百二十二中学校
摂津市立第四百二十三中学校
摂津市立第四百二十四中学校
摂津市立第四百二十五中学校
摂津市立第四百二十六中学校
摂津市立第四百二十七中学校
摂津市立第四百二十八中学校
摂津市立第四百二十九中学校
摂津市立第四百三十中学校
摂津市立第四百三十一中学校
摂津市立第四百三十二中学校
摂津市立第四百三十三中学校
摂津市立第四百三十四中学校
摂津市立第四百三十五中学校
摂津市立第四百三十六中学校
摂津市立第四百三十七中学校
摂津市立第四百三十八中学校
摂津市立第四百三十九中学校
摂津市立第四百四十中学校
摂津市立第四百四十一中学校
摂津市立第四百四十二中学校
摂津市立第四百四十三中学校
摂津市立第四百四十四中学校
摂津市立第四百四十五中学校
摂津市立第四百四十六中学校
摂津市立第四百四十七中学校
摂津市立第四百四十八中学校
摂津市立第四百四十九中学校
摂津市立第四百五十中学校
摂津市立第四百五十一中学校
摂津市立第四百五十二中学校
摂津市立第四百五十三中学校
摂津市立第四百五十四中学校
摂津市立第四百五十五中学校
摂津市立第四百五十六中学校
摂津市立第四百五十七中学校
摂津市立第四百五十八中学校
摂津市立第四百五十九中学校
摂津市立第四百六十中学校
摂津市立第四百六十一中学校
摂津市立第四百六十二中学校
摂津市立第四百六十三中学校
摂津市立第四百六十四中学校
摂津市立第四百六十五中学校
摂津市立第四百六十六中学校
摂津市立第四百六十七中学校
摂津市立第四百六十八中学校
摂津市立第四百六十九中学校
摂津市立第四百七十中学校
摂津市立第四百七十一中学校
摂津市立第四百七十二中学校
摂津市立第四百七十三中学校
摂津市立第四百七十四中学校
摂津市立第四百七十五中学校
摂津市立第四百七十六中学校
摂津市立第四百七十七中学校
摂津市立第四百七十八中学校
摂津市立第四百七十九中学校
摂津市立第四百八十中学校
摂津市立第四百八十一中学校
摂津市立第四百八十二中学校
摂津市立第四百八十三中学校
摂津市立第四百八十四中学校
摂津市立第四百八十五中学校
摂津市立第四百八十六中学校
摂津市立第四百八十七中学校
摂津市立第四百八十八中学校
摂津市立第四百八十九中学校
摂津市立第四百九十中学校
摂津市立第四百九十一中学校
摂津市立第四百九十二中学校
摂津市立第四百九十三中学校
摂津市立第四百九十四中学校
摂津市立第四百九十五中学校
摂津市立第四百九十六中学校
摂津市立第四百九十七中学校
摂津市立第四百九十八中学校
摂津市立第四百九十九中学校
摂津市立第五百中学校
摂津市立第五百一中学校
摂津市立第五百二中学校
摂津市立第五百三中学校
摂津市立第五百四中学校
摂津市立第五百五中学校
摂津市立第五百六中学校
摂津市立第五百七中学校
摂津市立第五百八中学校
摂津市立第五百九中学校
摂津市立第五百十中学校
摂津市立第五百十一中学校
摂津市立第五百十二中学校
摂津市立第五百十三中学校
摂津市立第五百十四中学校
摂津市立第五百十五中学校
摂津市立第五百十六中学校
摂津市立第五百十七中学校
摂津市立第五百十八中学校
摂津市立第五百十九中学校
摂津市立第五百二十中学校
摂津市立第五百二十一中学校
摂津市立第五百二十二中学校
摂津市立第五百二十三中学校
摂津市立第五百二十四中学校
摂津市立第五百二十五中学校
摂津市立第五百二十六中学校
摂津市立第五百二十七中学校
摂津市立第五百二十八中学校
摂津市立第五百二十九中学校
摂津市立第五百三十中学校
摂津市立第五百三十一中学校
摂津市立第五百三十二中学校
摂津市立第五百三十三中学校
摂津市立第五百三十四中学校
摂津市立第五百三十五中学校
摂津市立第五百三十六中学校
摂津市立第五百三十七中学校
摂津市立第五百三十八中学校
摂津市立第五百三十九中学校
摂津市立第五百四十中学校
摂津市立第五百四十一中学校
摂津市立第五百四十二中学校
摂津市立第五百四十三中学校
摂津市立第五百四十四中学校
摂津市立第五百四十五中学校
摂津市立第五百四十六中学校
摂津市立第五百四十七中学校
摂津市立第五百四十八中学校
摂津市立第五百四十九中学校
摂津市立第五百五十中学校
摂津市立第五百五十一中学校
摂津市立第五百五十二中学校
摂津市立第五百五十三中学校
摂津市立第五百五十四中学校
摂津市立第五百五十五中学校
摂津市立第五百五十六中学校
摂津市立第五百五十七中学校
摂津市立第五百五十八中学校
摂津市立第五百五十九中学校
摂津市立第五百六十中学校
摂津市立第五百六十一中学校
摂津市立第五百六十二中学校
摂津市立第五百六十三中学校
摂津市立第五百六十四中学校
摂津市立第五百六十五中学校
摂津市立第五百六十六中学校
摂津市立第五百六十七中学校
摂津市立第五百六十八中学校
摂津市立第五百六十九中学校
摂津市立第五百七十中学校
摂津市立第五百七十一中学校
摂津市立第五百七十二中学校
摂津市立第五百七十三中学校
摂津市立第五百七十四中学校
摂津市立第五百七十五中学校
摂津市立第五百七十六中学校
摂津市立第五百七十七中学校
摂津市立第五百七十八中学校
摂津市立第五百七十九中学校
摂津市立第五百八十中学校
摂津市立第五百八十一中学校
摂津市立第五百八十二中学校
摂津市立第五百八十三中学校
摂津市立第五百八十四中学校
摂津市立第五百八十五中学校
摂津市立第五百八十六中学校
摂津市立第五百八十七中学校
摂津市立第五百八十八中学校
摂津市立第五百八十九中学校
摂津市立第五百九十中学校
摂津市立第五百九十一中学校
摂津市立第五百九十二中学校
摂津市立第五百九十三中学校
摂津市立第五百九十四中学校
摂津市立第五百九十五中学校
摂津市立第五百九十六中学校
摂津市立第五百九十七中学校
摂津市立第五百九十八中学校
摂津市立第五百九十九中学校
摂津市立第六百中学校
摂津市立第六百一中学校
摂津市立第六百二中学校
摂津市立第六百三中学校
摂津市立第六百四中学校
摂津市立第六百五中学校
摂津市立第六百六中学校
摂津市立第六百七中学校
摂津市立第六百八中学校
摂津市立第六百九中学校
摂津市立第六百十中学校
摂津市立第六百十一中学校
摂津市立第六百十二中学校
摂津市立第六百十三中学校
摂津市立第六百十四中学校
摂津市立第六百十五中学校
摂津市立第六百十六中学校
摂津市立第六百十七中学校
摂津市立第六百十八中学校
摂津市立第六百十九中学校
摂津市立第六百二十中学校
摂津市立第六百二十一中学校
摂津市立第六百二十二中学校
摂津市立第六百二十三中学校
摂津市立第六百二十四中学校
摂津市立第六百二十五中学校
摂津市立第六百二十六中学校
摂津市立第六百二十七中学校
摂津市立第六百二十八中学校
摂津市立第六百二十九中学校
摂津市立第六百三十中学校
摂津市立第六百三十一中学校
摂津市立第六百三十二中学校
摂津市立第六百三十三中学校
摂津市立第六百三十四中学校
摂津市立第六百三十五中学校
摂津市立第六百三十六中学校
摂津市立第六百三十七中学校
摂津市立第六百三十八中学校
摂津市立第六百三十九中学校
摂津市立第六百四十中学校
摂津市立第六百四十一中学校
摂津市立第六百四十二中学校
摂津市立第六百四十三中学校
摂津市立第六百四十四中学校
摂津市立第六百四十五中学校
摂津市立第六百四十六中学校
摂津市立第六百四十七中学校
摂津市立第六百四十八中学校
摂津市立第六百四十九中学校
摂津市立第六百五十中学校
摂津市立第六百五十一中学校
摂津市立第六百五十二中学校
摂津市立第六百五十三中学校
摂津市立第六百五十四中学校
摂津市立第六百五十五中学校
摂津市立第六百五十六中学校
摂津市立第六百五十七中学校
摂津市立第六百五十八中学校
摂津市立第六百五十九中学校
摂津市立第六百六十中学校
摂津市立第六百六十一中学校
摂津市立第六百六十二中学校
摂津市立第六百六十三中学校
摂津市立第六百六十四中学校
摂津市立第六百六十五中学校
摂津市立第六百六十六中学校
摂津市立第六百六十七中学校
摂津市立第六百六十八中学校
摂津市立第六百六十九中学校
摂津市立第六百七十中学校
摂津市立第六百七十一中学校
摂津市立第六百七十二中学校
摂津市立第六百七十三中学校
摂津市立第六百七十四中学校
摂津市立第六百七十五中学校
摂津市立第六百七十六中学校
摂津市立第六百七十七中学校
摂津市立第六百七十八中学校
摂津市立第六百七十九中学校
摂津市立第六百八十中学校
摂津市立第六百八十一中学校
摂津市立第六百八十二中学校
摂津市立第六百八十三中学校
摂津市立第六百八十四中学校
摂津市立第六百八十五中学校
摂津市立第六百八十六中学校
摂津市立第六百八十七中学校
摂津市立第六百八十八中学校
摂津市立第六百八十九中学校
摂津市立第六百九十中学校
摂津市立第六百九十一中学校
摂津市立第六百九十二中学校
摂津市立第六百九十三中学校
摂津市立第六百九十四中学校
摂津市立第六百九十五中学校
摂津市立第六百九十六中学